



# きずな街道

第18号

編集●みくも学区まちづくり協議会 発行●2018年2月 発行責任者●武田久男

事務局●柑子袋まちづくりセンター内 TEL 0748-71-2560 FAX 0748-71-2561

当初よりハード面では、三雲学区での木製プランター、ベンチの作製設置や、東海道マップ大型看板、神社仏閣名所旧跡の案内板の設置、災害発生時一時集合場所案内板の作製、おもてなし処の開設等々、又ソフト面では花植え、一斉清掃等々を含めて地域興し拡充に多大な貢献をされていることに敬意を表します。

さて、各区と連携して、昨年5回目を迎えた「東海道ウォーキ・みちくさコンパス」は恒例行事として湖南省内外の市民権を得つつあります。一方、昨年秋の湖南省総合防災訓練では初めて「三雲小学校体育館避難所開設」に、各区の協力を得て取組されました。地域の『安全安心と活力あるまちづくり』には、まち協と区が連携して、区は縦糸（杭）として行政の更なるレベルアップ、まち協さんは横糸（口一派）として、学区内9区を束ねる行事等に特化していくべきだと思います。今年も「みちくさコンパス」で旅人（ウォーカー）を沢山迎え、一方、年々多発する自然災害等の防災対策の先頭に立っていたき、「地域の命を守る」に繋げてくださることを、ご期待申し上げ平成30年スタートのご挨拶といたします。



夏見区長（三雲学区区長会 副学区長）

喜多 正平

平成21年3月に発足されたまちづくり協議会も、この4月で10年目を迎えます。

## 12月23日カップケーキ作りに挑戦

12月23日学区内の小学生児童を対象に、ボランティアグループ「マーガレット」の皆さんの指導を仰ぎ、柑子袋まちづくりセンターで今年度初めて「クリスマスカップケーキ」づくりに挑戦しました。



ケーキの焼き上がり待ちです

出来上がった  
カップケーキ

子供とお母さん・ボランティアの  
3人がかりで絞りました

# 防災訓練



各区から避難所まで徒歩での移動

## 訓練はどうでしたか？

大変良かった	良かった	普通	良くなかった
4	20	16	4



アンケート

10月1日（日）湖南市総合防災訓練が行われ各区での「避難訓練」の後、まち協は各区と協働で三雲小に避難所を開設しました。

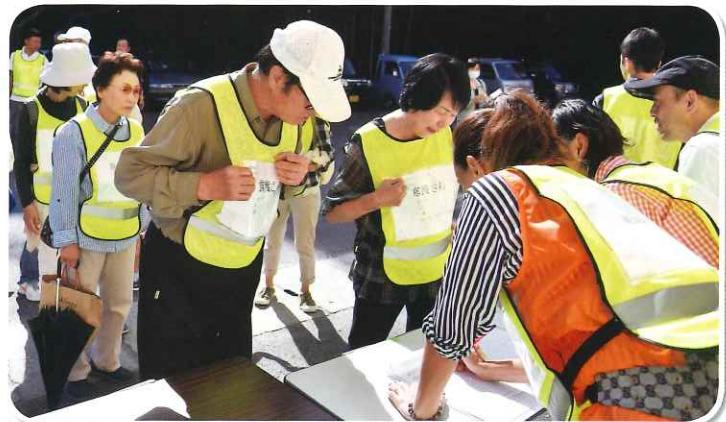
こうした訓練は初めての取組で、避難所までは各区単位に徒步で来て頂き、受付後、体育館で簡易間仕切りの組み立て方・非常食の作り方と試食を行いました。

小学校に集まつて頂いた各区の方々はスタッフ含めて136名の参加でした。

ご協力ありがとうございました。



簡易間仕切りの組み立て方の説明



受付風景



アルファー米の試食



非常食は乾パンとアルファー米

## 第5回 みちくさコンパス

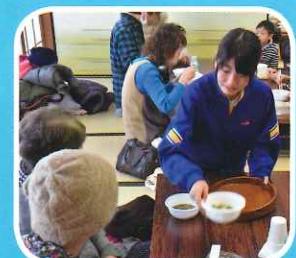
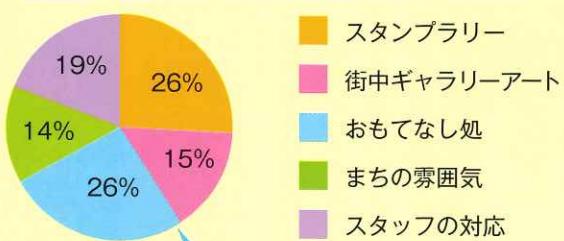
11月25日(土)・26日(日)の両日、今回は石部地区の協力を得て、三雲駅から石部駅までの旧東海道を中心開催しました。当日は天気も良く、小さい子供を連れた親子連れ、孫を連れたおじいちゃん、おばあちゃん、若い女性グループ等の方々や市外・遠くは県外からも足を運んで頂きました。

それに、中学生や地元の銀行、三菱自工、商工会の皆さん、何といっても地元住民の方々のボランティア参加者等々参加総数は2,595名となり、今までにない大きな盛り上がりの取組となりました。

運営に当たっては中学生・高校生・市関係者・企業・各区ボランティア等の協力得て事故もなく終了出来ました。

### 良かったところは？

アンケート				
スタンプラリー	街中ギャラリーアート	おもてなし処	町の雰囲気	スタッフの対応
314	181	309	170	219
26.0%	15.1%	25.9%	14.2%	18.3%



アンケートの良かったところは？で人気のあったおもてなし処で豚汁を出す中学生



旧東海道を散策する参加者



屋台村の賑わい



今年も見せてくれた甲西中のソーラン



ラリーポイント



研修会参加者と四日市市港地区自主防災組織連絡協議会の皆さん

11月27日、「みくも学区まちづくり協議会」の先進地研修が実施された。

ますます、防災についての意識を高めていくことが大切である。今あるが、今年度は、この防災についての先進的な取り組みをされている四日市市港地区での研修であった。

四日市市港地区は、その地域名の通り、四日市港に隣接する地域であり、特に地震やそれに伴つた津波についての避難訓練や避難所の設置等について、定期的に訓練を実施をされるなどし、そのための地域のコミュニティーがより形成されている地域であり、そのことこそが万が一、災害が起こっても、被害を最小限にとどめることができるということを学びました。

また、港地区は以外にも少子高齢化が顕著に進んでおり、お互いが助け合う共助の意識を住民が持つことこそ、災害から住民の命を守るために大切なこと。そこで、その共助についての意識を高めることができた。これが大切であることも学びました。

## 研修旅行



パワーポイントで説明する笠井会長



## 健康教室「ヨコロとカラダ」をリフレッシュ

平成30年3月4日(日) 場所 柑子袋まちづくりセンター  
9時30分～11時30分

## さくらまつり(夏見区と共催)

平成30年4月8日(日) 場所 由良谷さくら広場 11時～14時